

支援会（旧直近OBOG会） 第5回

日時 2016年5月28日
 場所 武蔵大学8号館6階 8601教室
 時間 13:00~15:00
 参加者 2名 山本、藤田(敬称略)

《進捗報告》

- ・LINE@の活用開始
- ・幹事会への参加(1月)

《基金運用拡大》

- ・弓以外(矢・ジャージ・合宿費)
 →基金の目的変更への適応

↓

- ・来年の実施に向けて準備

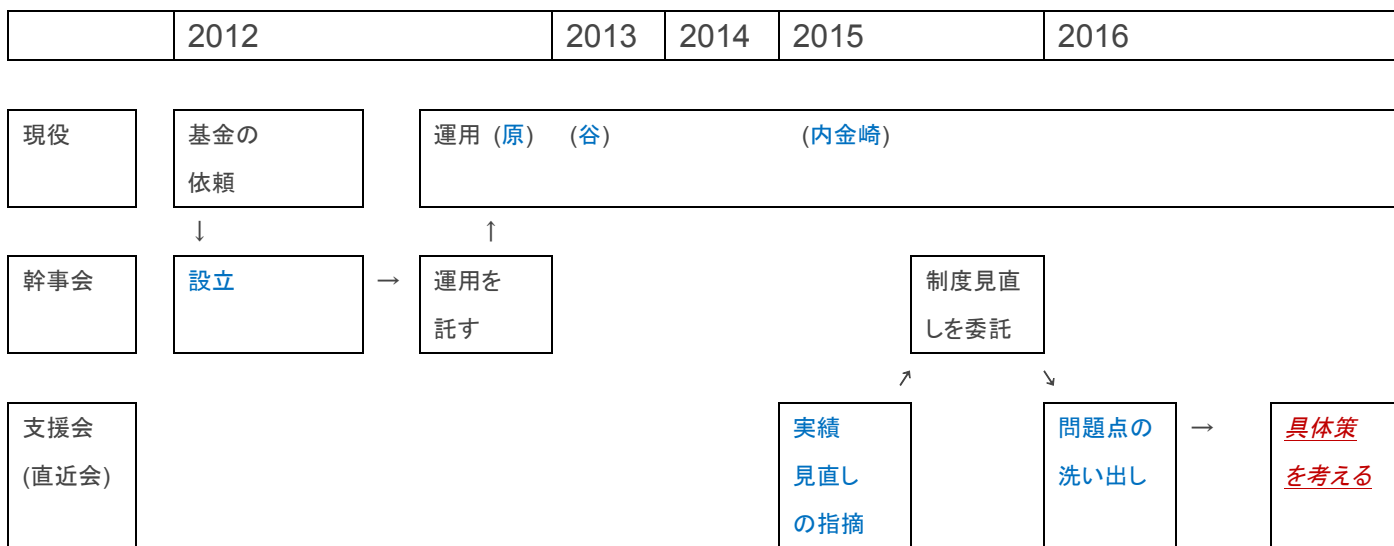
結果を出すために何が必要かを現役だけでなく、OB・OGも一緒に考える。

基金はあくまでも方法のひとつでしかない。単純に現役にお金を渡すだけではダメ。

↑ 「方法」 ↓

(現役+OBOG) → 「基金」 → ⇒【結果】

↓ 「練習」 ↑



※ 青=実績

《基金の目的》

・新人確保→部を強くする、退部者を減らす

冬

↓...現役金欠←金銭援助

春

↓...新人に説明

夏

《新歓のイメージ》

×弓具高い→備品

×朝霞遠い

[競技の楽しさ] ↓

【洋弓部楽しい！】

[コミュニティの楽しさ] ↑

×部活大変

×上下関係厳しい

・【洋弓部楽しい！】の部分に早く新人を持っていく重要性

→新歓期間だけでは足りない。

→仮の弓具・状況でとりあえず始める

《新人への基金説明》

・冬の基金→リーグ対策、合宿

○春の基金→新人の弓具

↓

従来通りで良い。今までこれだけだったから結果が出なかった。

新人も部活に慣れてきたら基金を使う。

まず新人に洋弓部に慣れてもらう(楽しんでもらう)。

⇒それを促進する、現役に伝えてもらうのが支援会の役割

《武蔵杯》

・コーチ発案。武蔵杯の10日前くらい。

宮寺におでん会(9月)のようなことができないか相談。

↓
支援会主要メンバーを動員して、大々的にやろう。OBOG を多く呼んで豪華にやろう。
(人を多く呼ぶため支援会マターにした)

↓
結果、大成功！

↓
支援会で報告、かつ正式に提案。OBOG・現役からも好評だった。
→次年度以降も支援会の担当になる(1月)

《LINE@の活用》

・支援会の名称(14人)

○賛同 14人

・基金の支援会の介入の是非(12人)

○賛同 11人

反対 1人

⇒承認

→選択肢が明確になっているものが望ましい

[第2弾]

テーマ

・武蔵杯

・7月の直近 OBOG 飲み会

・ホーム画面に汎用アンケート(満足度アンケート)

⇒今回は少人数のためアンケートなし(案出しにとどめておく)

第6回の決議に回す。

《次回》

【7月30日】 第6回支援会(13:00~15:00)

& 第4回直近 OBOG 飲み会@池袋 鍋ぞう(19:00~21:00)

場所の手配 コーチ

告知 山本

4年生~上2代がメインゲスト

《今回担当者》

- ・場所取り 小山
- ・資料作り 深澤
- ・広報 山本
- ・記録 藤田
- ・議事録作成 小山
- ・スケジュール管理 藤田

《次回会議担当者》

- ・場所取り 小山
- ・資料作り 藤田、小山
- ・広報 山本
- ・記録・議事録作成 小山
- ・スケジュール管理 藤田

《次回飲み会担当者》

- ・場所の手配 藤田
- ・告知 山本